平成30年10月18日（木）

コアだより４号

利

元亨利貞（利；秋：開花の意　天の４徳の１つ）

〒996－0091
学校法人最上広域コア学園
新庄コアカレッジ
TeL　0233－29－2121
Fax　0233－28－1001
E-mail　scc_office@core.ac.jp

第32回新庄コアカレッジ学園祭

― 笑顔満彩　keep smilinng ―

近況報告

たび重なる台風の到来など天候不順が続き、例年より稲の生育が遅れ収穫量も少ないなどという風聞があちこちから流れてきました。それでも、すっかり刈り終えた田園風景を見ると、ほっと一息ついている人も多いと思います。一方、最近の寒さに、間近に冬の気配が忍び寄ってきている感じさえします。

さて、芸術の秋・食欲の秋・読書の秋・学習の秋など、秋はいろいろなものが開花する時期と言われます。本校では、日頃の学習の様子や地域の方々に感謝の気持ちを込めて、学園祭を（10月12日～13日）実施しました。

一般公開日である13日（土）には、来賓の方を招待して、課題研究発表会という形で学習成果を披露しました。本校の代表学生4名による発表でした。手前みそになりますが、とても素晴らしかったと自負しています。改めて学生たちの成長の早さに驚いているところです。大きな目標に向かい、その実現に地道に努力した結果が、プレゼンテーションに自信となって表れていました。また当日は朝早くから保護者の皆様にはお手伝いを頂き感謝申しあげます。

義援金活動

本校は、創立以来、最上8市町村の支援を受けながら現在に至っています。もちろん大きな目的の一つとして、地域に貢献する人材の育成があります。これからもさらに地域とのつながりを深めた学校運営をやっていきます。「地域貢献の日」を設定し、ボランティア活動をしたり、課題研究発表会を開催し、地域の皆様に公開しているのもその一環です。

この夏、最上地域は、8月5日と8月30日の2度にわたり甚大な災害を被りました。特に、戸沢村蔵岡地区では、全域が一カ月の間に二度も浸水被害にあったとお聞きしました。衷心よりお見舞い申し上げます。本校でも何か少しでも支援できることがないか、学生と保護者の方々とも相談し、学園祭を通じて、義援金活動を行うことにしました。また、模擬店などの売上金の一部も義援金に充てることにしました。結果、42，502円の義援金が集まりました。代表して校長から、渡部戸沢村長に直接手渡しました。村長からは有効に活用したいという感謝の言葉を頂きました。

登録販売者試験結果

今年度の山形県の試験は、８月２９日にありました。約500人の受験者があり、半数が合格したようです。

本校では、医療ビジネス科の１年生２名が挑戦し、見事に合格（100％）することができました。夏休みを返上しての勉強、御苦労様でした。おめでとう。

なお、社会人入学の介護福祉士養成科の2名も同試験に合格していました。

医薬品の基礎知識のある介護福祉士の存在は、何かと頼りになるのではないでしょうか。期待しています。

課 題 研 究 発 表 会

No	発表者	学　科	学年	テ ー マ	概要
1	庄司美菜	介護福祉科	1年	第1段階 介護実習の学び	第一段階介護実習を通して、印象に残るエピソードや失敗とアドバイスからの学び
2	渡 部　愛	介護福祉科	2年	第3段階 介護過程の実践	26日間にわたる長期実習の報告と、ケーススタディを通しての生活支援への気づき
3	叶内夏稀	医療ビジネス科	1年	セルフメディケーション税制について	近年、医療費の増加に伴いセルフメディケーションの推進が図られている。セルフメディケーション税制の内容と実態について
4	海鋒光徳	情報システム科	1年	RaspBerrPi ラズベリーパイって？	ラズベリーパイってご存じですか？おいしいケーキ？いえいえ違います。聞いてみての楽しみ。それでは紹介します。

（庄司美菜：金山校出身）　順番がトップということもあり、とても緊張しました。初めての介護実習で印象に残ったエピソードを通して感じたことやそこから学んだこと、そしてアドバイスして頂いたことをしっかり伝えたつもりです。人前で発表した経験が自分の成長に繋げられたと感じてます。何回も発表内容を修正したり、練習を繰り返したりして、正直にいえば、発表に間に合うかどうか不安な気持ちでいっぱいでした。本番の直前にやっと、パワーポイントにまとめ仕上げることができほっとしました。自信を持って練習の成果を発揮することができたと思います。この課題を第二段階実習で活かし、学びを深めることができるよう、失敗、反省を糧にして、誠心誠意、努力を継続していきます。

（渡部愛：神産出身）私は、実習を通して学んだことや介護過程の実践として、ケーススタディについて発表しました。聴衆者の中には、介護分野について基礎知識のない人も多くいました。質問を受けた時に、専門用語を使用する場合は、分かりやすく工夫して説明する必要があったと感じました。この課題発表の準備を通して、深い部分まで振り返りができ、自分自身の課題がより明確になりました。常に利用者の目線に立ち、真のニーズを引き出せるような関わりをして、利用者自身が満足し、かつ充実した施設生活ができるように支援できる介護福祉士が目標です。近くの特別養護老人ホームに内定しており、来年4月から、地元で即戦力になれるように、国家試験の合格を目指して頑張ります。

（叶内夏稀：新南出身）これまで人前で発表することがあまりなかったので、このような機会を得て、よい経験となりました。セルフメディケーション税制について発表しました。一般の人が1年間でかかる医薬品の費用と減税について、従来の制度と新制度と比較することで理解が深まるように工夫しました。それでも、昨年できたばかりの新しい制度で、知っている人が少ないことや、内容も難しいということもあり、理解を深めてもらったか不安です。

私はこの夏に、登録販売者の試験に挑戦し合格することができました。まだ1年生ですが、将来のために、出来るだけ早く医薬品の販売に携わり、実績を積み上げたいです。現在、その関係の仕事ができるアルバイトを探しています。

（海鋒光徳：新南出身）　研究発表では、ラズベリーパイ（超小型「手のひらサイズ」、超低価格「約1万円」のコンピュータ のことを言います。）でできることについて、事例を上げながら、その驚くような能力と汎用性の素晴らしさを、長所や短所を含めて紹介しました。多くの方からお褒めの言葉を頂けてとても嬉しかった。でも、当初の予定では、紹介するだけでなく自分で何か作ったり、実験などをしながら発表するつもりでした。思ったように準備や研究がなかなか進まず、紹介するだけになったことが反省点です。将来の目標についての質問に、ハッキリと答えられなかったことも残念です。次回の発表までの残り日数を逆算し、しっかり研究を深めて、プレゼンテーションに臨みます。